2024.03.03

MESSAGE NOTES

わたしは門です

ヨハネの福音書 10:1-10

ロイド　フラハティ

ヨハネの福音書 10 章 1-10 節
1「まことに、まことに、あなたがたに言います。羊たちの囲いに、門から入らず、ほかのところを乗り越えて来る者は、盗人であり強盗です。2 しかし、門から入るのは羊たちの牧者です。3 門番は牧者のために門を開き、羊たちはその声を聞き分けます。牧者は自分の羊たちを、それぞれ名を呼んで連れ出します。4 羊たちをみな外に出すと、牧者はその先頭に立って行き、羊たちはついて行きます。彼の声を知っているからです。5 しかし、ほかの人には決してついて行かず、逃げて行きます。ほかの人たちの声は知らないからです。」6 イエスはこの比喩を彼らに話されたが、彼らは、イエスが話されたことが何のことなのか、分からなかった。
7　そこで、再びイエスは言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしは羊たちの門です。8 わたしの前に来た者たちはみな、盗人であり強盗です。羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした。9 わたしは門です。だれでも、わたしを通って入るなら救われます。また出たり入ったりして、牧草を見つけます。10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。

1. イエスさまが門です
   ヨハネ 10:9「わたしは門です。だれでも、わたしを通って入るなら救われます。また出たり入ったりして、牧草を見つけます。」
   ただの門ではありません。救いの入り口なのです。イエスさまこそがその入り口であるとおっしゃいます。イエスさまの門を通るならば、霊的な安心と栄養をいただくことができます。

2. ニセの門に気をつけましょう
   ヨハネ 10:8「わたしの前に来た者たちはみな、盗人であり強盗です。羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした。」
   イエスさまは、イエスの教えとは異なる救いを語る宗教指導者たちを、盗人であり強盗であるときっぱりと言われました。

3. いのちを豊かに
   イエスさまは私たちを救うために来られます。縛りつけているものから解放し、安全な牧場へといざなってくださいます。盗んだり、殺したり、滅ぼしたりする盗人から守り、自由をくださいます。そしてさらに、いのちを豊かに与えてくださいます。
   ヨハネ 10:10「盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。」
   金銭や物質を超えた満足と霊的な人生を与えるイエスさまの使命です。欺きと悪意のニセ者とは好対照なのです。